



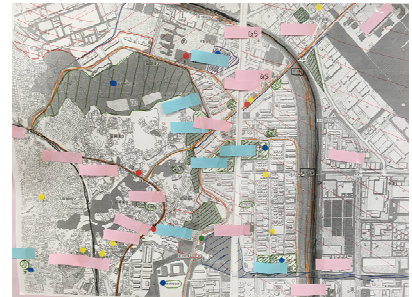
学校だより

第 161 号 令和 2 年 10 月 30 日

『防災対策にちなんで』

【DIG研修】

DIG（災害図上訓練）研修を 8 月 4 日（火）に本校会議室で行いました。当日は、感染症対策をしっかりと、時間毎にそれぞれ 5 グループに分かれて実施しました。この DIG とは、地図を作成しながら災害への対応についてグループ討議を重ねる訓練のことで「災害=Disaster」「想像力=Imagination」「ゲーム=Game」の 3 つの単語の頭文字をとって DIG（ディグ）と呼ぶそうです。



訓練では、①地図を使って学校周辺の危険箇所や災害時に有用な施設等を探し出し、災害時の活動に役立つ知識を身につける。②地図から地域の安全度・危険度を考え、災害発生時の対応をイメージすることで日常の防災意識を高める。③コミュニケーションを通じて、防災の理解を深める。といった狙いがあると聞いています。

実際に参加してみて、改めて金沢養護学校の周辺環境を知ることができました。皆さんも一度、ご自宅周辺の環境について、地図を使って確認してみてください。

【救急法講習会】

10 月 12 日（月）には救急法講習会を感染予防に配慮した形で、実技研修は本校体育館で、また書面研修は職員室にそれぞれ分かれて実施することができました。

皆さんもご存知のことと思いますが、119 番通報し救急車を要請しても、到着まで全国平均で約 9 分間かかるそうです。実技研修ではその間に我々が出来る「救命処置の手順」を金沢消防署からお借りした心肺蘇生法訓練用人形と AED トレーナーを使って行いました。書面研修で使った「テスト問題」の一部を最後に載せておきますので、皆さんも一度、解いてみてください。

【問 1】 以下の救命処置の流れの空欄を埋めましょう。

- ①安全を確認する。 ② を確認する。 ③大声で叫び、応援を呼ぶ。
④ 番通報・依頼 ⑤呼吸を見る。
⑥胸骨圧迫を行う。 ⑦人工呼吸を行う。 ※省略可能 ⑧AED を使う。

【問 2】 胸骨圧迫を行う際に、エアロゾル（ウイルスなどを含む微粒子が浮遊した空気）の飛散を防ぐため、必要な措置として正しいもの 1 つに○をしましょう。

- A. なるべく接触を控えるために、片手で行う。 B. 実施前に、入念に手洗いをを行う。
C. ハンカチやタオルなどを鼻と口にかぶせる。
D. なるべく飛沫が飛散しないよう、50 回/1 分を目安とする。

【問 3】 成人の心停止に対しては、人工呼吸を行わずに胸骨圧迫と AED による電気ショックを実施する”対応は… ○ ・ ×

【問 4】 AED から「ショックは不要です」とのアナウンスがあった場合、再度の胸骨圧迫は…
必要 ・ 不要

（教頭 福島）